

臨床実習全科に共通する一般目標と注意事項

【一般目標（G I O）】

- 1) 実習各科の診療内容を理解し、講義で学んだ知識を再確認するとともに、より実践的な臨床知識を身につける。
- 2) 医師に必要な基本的診療技能とコミュニケーション技能の基礎を身につけ、臨床実習アドバンストコースや卒後臨床研修を行ううえでの基盤を確立する。
- 3) 医師に必要な責任感、職業的な技能、思考法、態度を学ぶ。
- 4) 患者の問題の理解に基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につける。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。なお、1週間の実習日程が4日に満たない場合は、夏季休暇等を利用して補習することを合格（単位認定）の必要要件とする。
- 5) 学外実習施設への連絡について
実習開始迄に、実習先指導責任者等へ電話連絡をして、具体的な実習上の注意事項等を確認すること。遠隔地の場合は、特に交通手段等も確認し、移動中の事故を防ぐためにできる限り公共交通機関を利用すること。